

# 中小企業景況調査

平成 31 年 2 月

能登鹿北商工会

## 【調査要領】

### 1. 調査対象

(1)対象地区（10 商工会）

能美市、美川、白山、かほく市、森本、羽咋市、富来、能登鹿北、穴水町、能登町

(2)対象企業数 180 企業

(3)回答企業数 180 企業（回答率 100.0%）

### 2. 調査対象期間

平成 30 年 10 月～12 月期を対象とし、調査時点は、平成 30 年 11 月 15 日とした。

今期の状況は、今期（30/10-12）と前年同期（29/10-12）を比べた。

### 3. 調査方法

(1)商工会の経営指導員による訪問面接調査。

(2)調査対象企業の抽出は、業種・規模等有意抽出法による。

### 4. 回答企業数内訳

	調査対象		回 答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	40	22.2%	40	22.2%
建設業	20	11.1%	20	11.1%
小売業	51	28.3%	51	28.3%
サービス業	69	38.3%	69	38.3%
合 計	180	100.0%	180	100.0%

### 5. D I とは

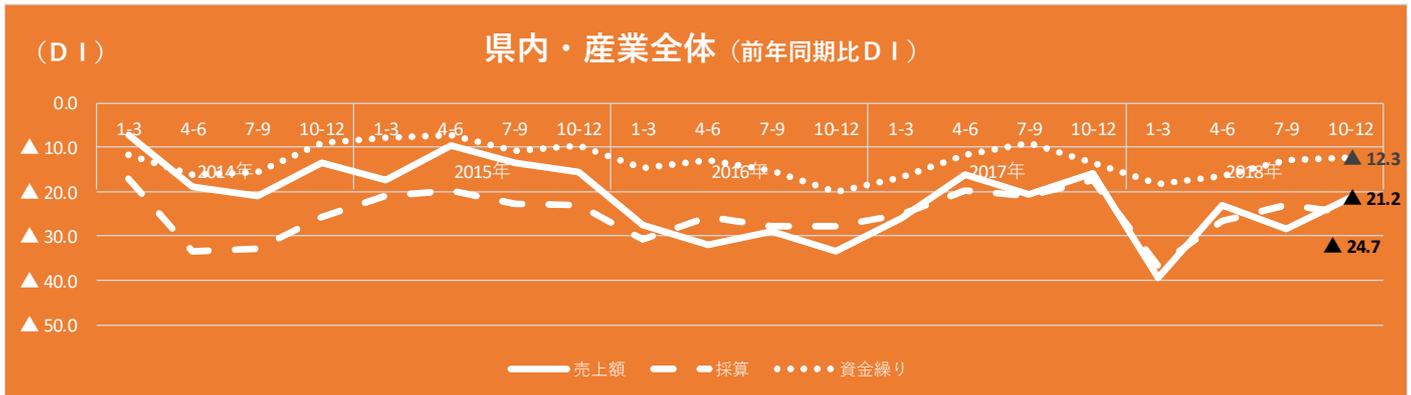
この報告書の中で「D I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気）動向指数の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値を示す指標です。

## 《産業全体》

### 売上、資金繰りは改善、採算は悪化

平成30年度第3・四半期（平成30年10月～12月期）の産業全体の動向では、前年同期比（以下、各指標とも同じ）の売上額D Iは、△21.2で前期比7.3ポイントの改善、採算D Iは、△24.7で前期比1.8ポイントの悪化、資金繰りD Iは、△12.3で前期比0.7ポイントの改善となりました。

業種別で見ると、売上額D I、採算D I及び資金繰りD Iはいずれも建設業、小売業、サービス業は改善、製造業は悪化となりました。

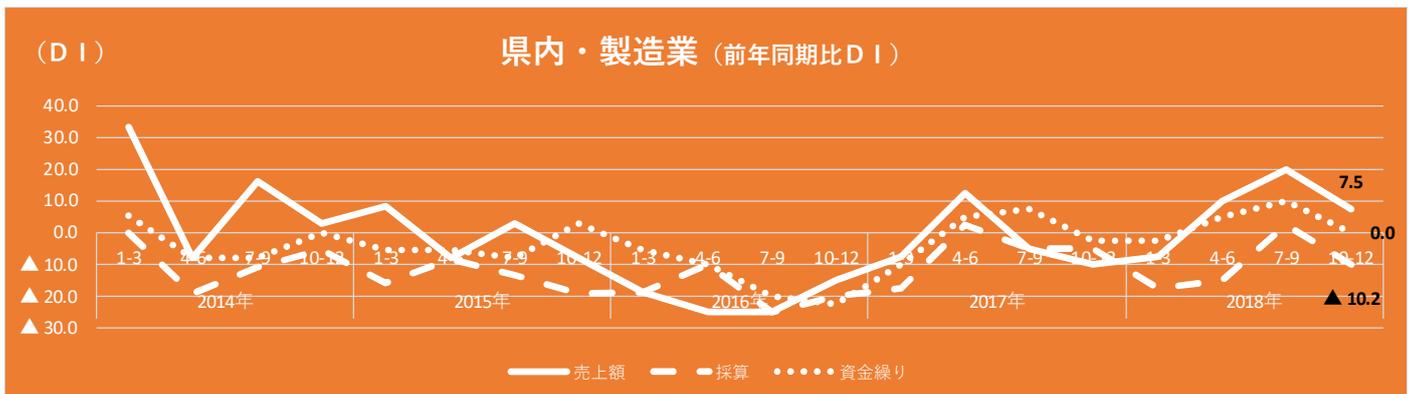


	2014年				2015年				2016年				2017年				2018年			
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12
売上高	△ 7.3	△ 19.0	△ 21.1	△ 13.4	△ 17.4	△ 9.5	△ 13.4	△ 15.5	△ 27.4	△ 31.9	△ 29.0	△ 33.5	△ 26.1	△ 16.2	△ 20.6	△ 15.8	△ 39.4	△ 23.1	△ 28.5	△ 21.2
採算	△ 17.1	△ 33.5	△ 32.9	△ 25.6	△ 21.1	△ 19.7	△ 22.7	△ 23.0	△ 30.9	△ 25.7	△ 27.7	△ 27.8	△ 25.0	△ 19.7	△ 20.9	△ 17.4	△ 36.6	△ 26.5	△ 22.9	△ 24.7
資金繰り	△ 11.8	△ 16.1	△ 15.7	△ 9.1	△ 7.9	△ 7.3	△ 10.7	△ 9.6	△ 14.8	△ 12.9	△ 15.3	△ 20.0	△ 16.8	△ 11.8	△ 9.0	△ 13.4	△ 18.3	△ 16.6	△ 13.0	△ 12.3

## 《製造業》

### 売上額、採算、資金繰りのすべて悪化

製造業の動向では、前年同期比（以下、各指標とも同じ）の売上額D Iは、7.5で前期比12.5ポイント、採算D Iは、△10.2で前期比12.7ポイント、資金繰りD Iは、0.0で前期比10.0ポイントの悪化となり、全てのD Iが悪化しました。

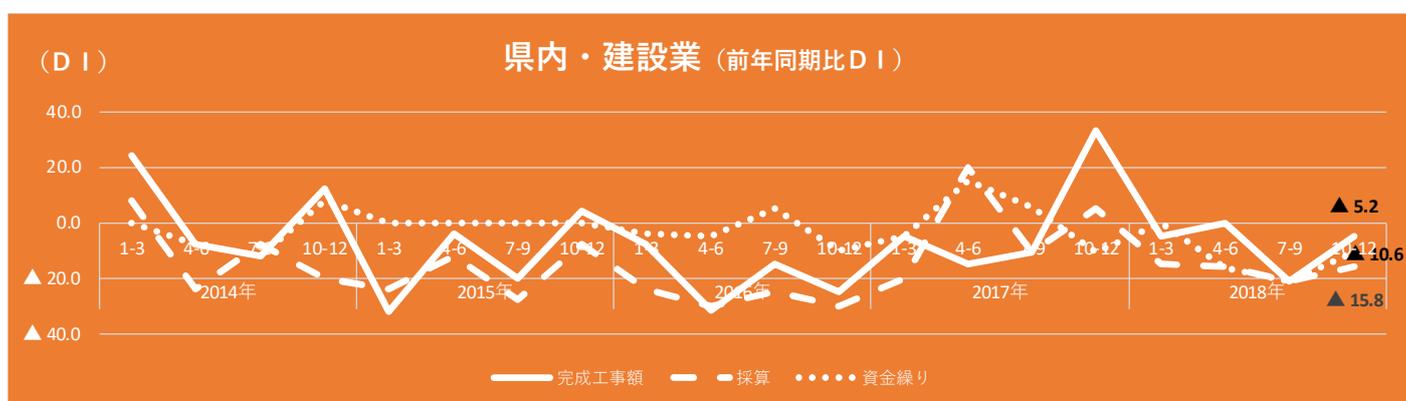


	2014年				2015年				2016年				2017年				2018年			
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12
売上高	33.3	△ 8.1	16.2	2.7	8.1	△ 8.1	2.7	△ 8.1	△ 18.9	△ 25.0	△ 25.0	△ 15.0	△ 7.5	12.5	△ 5.1	△ 10.0	△ 7.5	10.0	20.0	7.5
採算	0.0	△ 19.5	△ 11.1	△ 5.4	△ 16.2	△ 8.4	△ 13.5	△ 19.5	△ 18.9	△ 10.3	△ 25.0	△ 20.0	△ 17.5	2.5	△ 5.0	△ 5.2	△ 17.5	△ 15.0	2.5	△ 10.2
資金繰り	5.4	△ 8.1	△ 8.1	0.0	△ 5.4	△ 5.4	△ 8.1	2.7	△ 5.5	△ 10.0	△ 20.0	△ 22.5	△ 10.0	5.0	7.5	△ 2.5	△ 2.5	5.0	10.0	0.0

## 《建設業》

### 完成工事額、採算、資金繰りのすべて改善

建設業の動向では、前年同期比（以下、各指標とも同じ）の完成工事額D Iは、△5.2で前期比15.8ポイント、採算D Iは、△15.8で前期比5.2ポイント、資金繰りD Iは、△10.6で前期比10.5ポイントの改善となり、全てのD Iが改善しました。



	2014年				2015年				2016年				2017年				2018年			
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12
完成工事額	24.0	△ 8.0	△ 12.0	12.0	△ 32.0	△ 4.0	△ 20.0	4.0	△ 8.0	△ 31.6	△ 15.0	△ 25.0	△ 5.0	△ 15.0	△ 10.5	33.3	△ 5.0	0.0	△ 21.0	5.2
採算	8.0	△ 24.0	△ 8.0	△ 20.0	△ 24.0	△ 12.0	△ 28.0	△ 8.0	△ 24.0	△ 30.0	△ 25.0	△ 30.0	△ 20.0	20.0	△ 10.5	5.2	△ 15.0	△ 15.8	△ 21.0	△ 15.8
資金繰り	0.0	△ 8.0	△ 12.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 4.0	△ 5.0	5.0	△ 10.0	△ 5.0	15.0	5.3	△ 10.5	0.0	△ 16.6	△ 21.1	△ 10.6

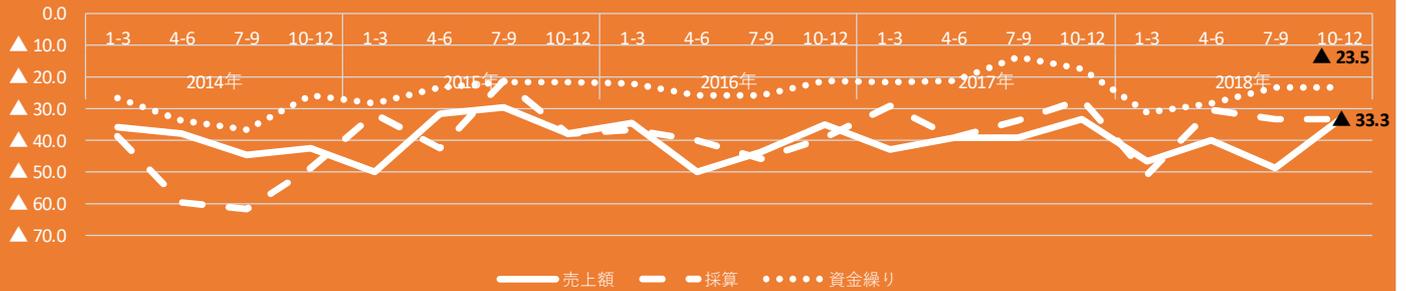
## 《小売業》

### 売上、採算、資金繰りのすべて改善

小売業の動向では、前年同期比（以下、各指標とも同じ）の売上額D Iは、△33.3で前期比15.8ポイント、採算D Iは、△33.3で前期比0.1ポイント、資金繰りD Iは、△23.5で前期比0.1ポイントの改善となり、全てのD Iが改善しました。

(D I)

## 県内・小売業 (前年同月比)



	2014年				2015年				2016年				2017年				2018年			
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12
売上高	△ 36.2	△ 38.3	△ 44.7	△ 42.6	△ 50.0	△ 31.9	△ 29.8	△ 38.3	△ 34.7	△ 50.0	△ 44.0	△ 35.3	△ 43.1	△ 39.2	△ 39.2	△ 33.3	△ 47.0	△ 40.0	△ 49.1	△ 33.3
採算	△ 39.1	△ 59.6	△ 61.7	△ 48.9	△ 32.0	△ 42.5	△ 21.3	△ 38.3	△ 37.0	△ 40.0	△ 46.0	△ 39.2	△ 29.4	△ 39.3	△ 34.0	△ 27.4	△ 51.0	△ 30.6	△ 33.4	△ 33.3
資金繰り	△ 26.7	△ 34.1	△ 36.9	△ 26.1	△ 28.3	△ 23.4	△ 21.7	△ 21.8	△ 22.2	△ 26.0	△ 26.0	△ 21.6	△ 22.0	△ 21.6	△ 14.0	△ 17.7	△ 31.4	△ 28.6	△ 23.6	△ 23.5

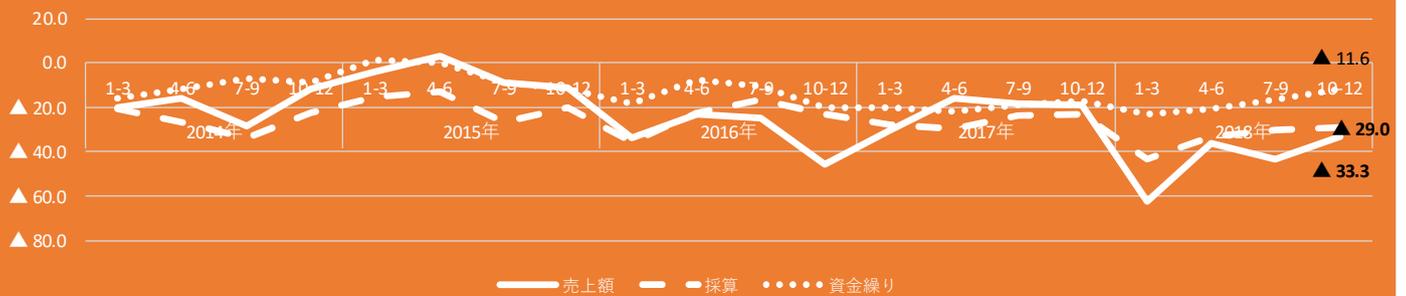
## 《サービス業》

## 売上、採算、資金繰りのすべて改善

サービス業の動向では、前年同期比（以下、各指標とも同じ）の売上額D Iは、△33.3で前期比10.2ポイント、採算D Iは、△29.0で前期比1.4ポイント、資金繰りD Iは、△11.6で前期比4.8ポイントの改善となり、全てのD Iが改善しました。

(D I)

## 県内・サービス業 (前年同月比)



	2014年				2015年				2016年				2017年				2018年			
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12
売上高	△ 20.3	△ 15.7	△ 28.2	△ 11.6	△ 4.2	2.9	△ 8.6	△ 11.2	△ 33.8	△ 23.2	△ 24.6	△ 45.6	△ 30.4	△ 16.2	△ 18.2	△ 19.1	△ 62.3	△ 36.3	△ 43.5	△ 33.3
採算	△ 20.6	△ 26.7	△ 33.8	△ 22.5	△ 15.5	△ 12.8	△ 26.7	△ 20.0	△ 35.8	△ 22.7	△ 16.5	△ 23.2	△ 27.6	△ 29.8	△ 23.5	△ 23.2	△ 43.5	△ 33.4	△ 30.4	△ 29.0
資金繰り	△ 16.1	△ 11.7	△ 7.0	△ 8.8	1.4	0.0	△ 8.8	△ 11.6	△ 18.6	△ 7.4	△ 10.4	△ 20.3	△ 20.3	△ 22.0	△ 19.1	△ 17.4	△ 23.2	△ 20.6	△ 16.4	△ 11.6

自社の業況についてのコメント（能登鹿北関係分）

業種	コメント
製造業	熟練の社員が定年前に退職し、週4日のアルバイトになった。本人はやりたいことがあるので仕方がないが、今は人材不足が心配である。
小売業	今後、消費税が10%に上がると購買力が減少すると思われるので、顧客一人ひとりのニーズに誠実に応え、当店で買い物をして良かったと思われる商いを実践していかなければならないと思っている。
	集客力のある場所での販売による売上は見込めるが、店舗にいかに足を運んでもらうか対策が必要である。
サービス業	若者は市の中心で生活しているため、周辺は高齢化し、車両の台数も減少している。将来を考えると不安である。
	休業期間は、売上も減少したが、営業を再開してからの客の入りも安定している。
	繁忙中、アルバイトを確保するのが困難で、家族で何とか回しているが、お客への対応が遅れ、迷惑をかけている。
	売上及び客数は減少しているが、リピーターやお客の紹介などで一定数の来店はある。今後は再来店してもらえよう、品質やサービスの向上が課題となる。
	災害等の影響で消費が落ちたと感じている。その中で活動しているお客の眼に届くHPや広告宣伝を考えていきたい。
今期は夏季の天候不順による影響から、予約を受けながらもキャンセルになったり、その後の集客に繋げることが困難であった。また、大口の取引先への支払いが遅れ、その影響を被っている。	